NIEしもつけ ワークシート ⑧④

高校生向け

年　組

（2021年10月10日付・下野新聞1面）

記事は加工しています

在宅増えても「読書離れ」

20年度県調査

「月0冊」高2の半数超

県内高校2年生の(あ)人に(い)人が月に1冊も本を読んでいないことが9日までに、県が実施した2020年度調査で分かった。コロナ禍で在宅時間が増えたと考えられるものの、読書をしない生徒の割合は前年度に比べて微増し、7年ぶりに全体の半数を超えた。県教委生涯学習課は「スマホや動画視聴など、子どもたちの関心の対象が多様化していることが一因」と分析している。

調査は21年1～2月、高校2年生2264人、中学2年生655人、小学5年生728人を対象に行った。1カ月に1冊も本（漫画や雑誌を除く）を読まない人の割合を示す「不読率」は、高校生が前年度比1・3ポイント増の51・2％、中学生は0・9ポイント減の15・2％、小学生は0・2ポイント増の7・6％。年代が上がるにつれて読書離れが進んでいる。

本を読まない理由（複数回答）は小中高ともに「テレビ・DVD・動画（ユーチューブなど）を見るのに時間を使う」（15・2％～16・9％）が最多だった。高校生で次いで多かった理由が「漫画や雑誌の方が面白い」（10・2％）だった。

1カ月の平均読書量は高校生1・47冊、中学生3・62冊、小学生が8・19冊。電子書籍が占める割合は高校生が22・3％で最も高く、中学生11・2％、小学生7・5％だった。

20年度までの県教育振興基本計画では不読率を高校生35％以下、中学生10％以下、小学生2％以下とする目標を掲げていたが、いずれも届かなかった。小中高ともに、同計画で基準としていた14年度を上回り、高校生では10・9ポイント増となった。

同課の担当者は「本の魅力を伝え合う機会を増やすなど、特に不読率の高い高校生世代が本を手に取る機会を増やしたい」としている。

（小口華奈子）

設　問

【1】記事の本文「高校２年生の（あ）人に（い）人」に当てはまる数字を答えてください。

【2】１カ月に１冊も本（漫画や雑誌を除く）を読まない人の割合を示す数値を何というか答えてください。

【3】記事に照らして、次の各文について正誤を○×で答えてください。

（1）１カ月に１冊も本を読まない割合は高校生が最も多く、次いで中学生、小学生の順である

（2）2021年１～２月の調査で、小中高生のうち、中学生が最も読書離れが大きい

（3）１カ月の平均読書量は高校生が最も高い

（4）2020年度までの県教育振興基本計画で掲げた、本を読まない人の割合を世代別に減らしていく目標はいずれも達成できなかった

【4】本を読まない理由で小中高とも最も多かったのは何ですか。

【5】読書に関して電子書籍が占める割合が最も高いのは小中高のどの世代ですか。

【6】問５の結果を踏まえて、新聞記事の内容を参考に、高校生の読書離れを改善するためのアイデアを100字程度で自由に論じてください。

出題・監修は県高校教育研究会社会部会・中田良直鹿沼東高教諭